

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 31 年 3 月 29 日

【発行】横浜市国際局政策総務課

企画担当 045-671-4710

ki-somu@city.yokohama.jp



【バンクーバーの「バンクーバー新朝日軍」、横浜の「横浜南ボーイズ」、  
「横浜泉リトルシニア」の試合後、健闘をたたえ合う3チームの選手の様子】

## チリ国から災害リスク削減の行政 の研修として来日、横浜の河川管 理や治水対策について学びました

横浜市は、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施している「チリ国災害リスク削減のための ONEMI ※組織強化プロジェクト」に協力し、研修の受入を実施しました。チリは、日本同様、地震や洪水等の自然災害の多い国ですが、地方における災害発生前のリスク軽減を含む防災計画が策定されていないこと等が課題とされています。



3月15日に行われた研修では、道路局河川計画課・河川管理課の協力により、横浜市の河川事業に関する講義と舞岡川遊水地の視察が行われました。チリ国災害対策に関わる職員や自治体首長など10名が参加し、横浜市の取組や知見について学びました。



※チリ政府の防災機関：内務公共安全省国家緊急対策室

## カナダ・バンクーバー新朝日軍 が2年ぶり3回目の横浜訪問

3月16と17日に、横浜の姉妹都市カナダ・バンクーバー市から、日系少年野球チーム「バンクーバー新朝日軍」が横浜を再訪しました。新朝日軍は、横浜の少年野球チーム「横浜南ボーイズ」、「横浜泉リトルシニア」と対戦し、熱戦を繰り広げました。



新朝日軍の Kai OKUYAMA 選手、Liam LEWIS 選手、Max YUEN 選手は試合後のインタビューで、「今日の試合のために、1年間頑張って練習してきた」、「横浜のチームはチームワークが良かった」、「野球を通して、相手チームへのリスペクトや礼儀など、日本文化を学んでいる」と答えました。



横浜とバンクーバーは、2020年に姉妹都市55周年を迎えます。両都市の若い世代の交流が一層高まることを期待しています。

## JICA ボランティアの新規派遣者 が市庁舎を訪問しました

JICA では、開発途上地域の経済・社会の発展や復興に協力するため、1965年から海外ボランティアを派遣しています。

毎年4回、約1,000名が世界各地に派遣され、横浜市内からも毎年約40名の方が派遣されています。

3月22日に2018年第四次新規派遣ボランティアの8名が渡辺副市長と面会を行いました。



これからタンザニアやマダガスカルなど世界各地に赴き、ICT技術の向上、子供たちの学習環境の改善など様々な分野にて尽力するボランティアの方々から抱負が述べられました。渡辺副市長からは、自身の開発途上国等への出張での体験や想いを織り交ぜながら、派遣先での経験を大切にしてほしいというメッセージと、ボランティアの方々の国際貢献に対する熱い決意に対しての激励がありました。